

表-1 作用液のウイルス感染価測定結果

試験 ウイルス	対 象	log TCID ₅₀ /mL* ¹			
		開始時	30秒後	1分後	5分後
インフルエンザ ウイルス	検 体	6.8	<2.5	<2.5	<2.5
	対 照	6.8	***	***	7.0
ネコカリシ ウイルス* ²	検 体	6.7	<1.5	<1.5	<1.5
	対 照	6.7	***	***	6.7

TCID₅₀: median tissue culture infectious dose, 50 %組織培養感染量

開始時: 作用開始直後の対照のTCID₅₀を測定し, 開始時とした。

対照: 精製水

作用温度: 室温

<1.5及び<2.5: 検出せず

*¹ 作用液1 mL当たりのTCID₅₀の対数値

*² ノロウイルスの代替ウイルス

***: 実施せず

6 試験方法

1) 試験ウイルス

Influenza A virus (H1N1) A/PR/8/34 ATCC VR-1469(インフルエンザウイルス)

Feline calicivirus F-9 ATCC VR-782(ネコカリシウイルス)

2) 使用細胞

インフルエンザウイルス: MDCK(NBL-2)細胞 ATCC CCL-34株[大日本製薬株式会社]

ネコカリシウイルス: CRFK細胞[大日本製薬株式会社]

3) 使用培地

① 細胞増殖培地

イーグルMEM培地「ニッスイ」①[日水製薬株式会社]に牛胎仔血清を10 %加えたものを使用した。